

リニア中央新幹線事業の進捗状況および今後の計画 坂本リニア駅周辺土地区画整理事業

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、リニア中央新幹線事業の進捗状況および今後の計画と、坂本リニア駅周辺土地区画整理事業をご紹介します。

問 リニア対策課（管内線214）

リニア中央新幹線事業の 進捗状況および今後の計画

リニア中央新幹線事業については、2027（平成39）年の開業に向け、JR東海による市内の沿線地域（山口、苗木、駒場、坂本）での各種調査や検討が行われています。

■平成27年度

沿線地域で、中央新幹線の計画路線の中心位置を示す中心杭の設置が行われたほか、中部総合車両基地予定地周辺では、地権者立会のもと土地の境界確認が実施されました。

・中央新幹線工事計画策定のための地質調査や、環境影響評価書に記載された事後調査、モニタリング

などの環境調査が行われたほか、事業が先行する地域では計画概要について説明が行われました。

・JR東海と岐阜県の間で「中央新幹線に係る用地取得事務の委託に関する協定」が締結され、岐阜県が用地取得等事務の一部をJR東海から受託したことを受け、県が受託した業務のうち用地取得計画の策定、用地説明会、用地測量・境界立会、用地協議の4項目について市が支援を行う契約を締結しました。

■平成28年度

沿線地域では平成27年度に引き続きJR東海および鉄道・運輸機構による測量、設計、地質調査、環境調査、発生土置場の個別検討や運搬経路の検討などが行われる予定で、計画の進んだ地域では用地説明・用地取得と進められ、工事説明会開催後に工事着手される予定です。

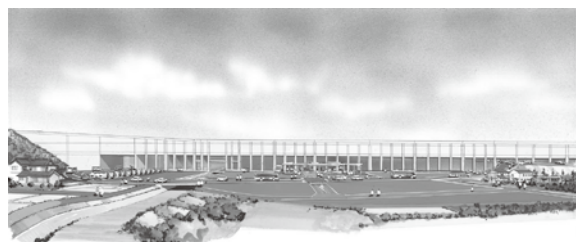
また、環境影響評価書に基づく事後調査の報告書（平成27年度）が作成され縦覧が実施されました。

坂本リニア駅周辺

土地区画整理事業

リニア中央新幹線岐阜県駅（仮称）周辺の施設整備については、岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会基盤整備部会でまとめられた基本方針に基づき、新たな岐阜県の東の玄関口として、「清流の国ぎふ」を感じていただける駅となるよう、コンパクトで利便性に優れ、にぎわいのある駅を目指して整備を行うこととしています。

中津川市では、岐阜県駅周辺に必要となるアクセス道路や広場などの施設を「土地区画整理事業」で整備すること



稲荷神社側からのリニア駅周辺イメージ図

を計画し、平成26年から地権者などの方へ延べ18回の土地区画整理事業説明会を開催し、ご意見などをいただきました。

いただいたご意見などを踏まえて土地区画整理事業施行区域の最終案をまとめ、岐阜県駅周辺約20ヘクタ

ールの区域で整備を図ることとし、平成29年度初頭の都市計画決定を目指しています。



麦の穂学園側からの北口駅前広場イメージ

リニア岐阜県駅周辺土地区画整理事業計画案

